

## 山梨県立高校の授業で「明るい未来へTRY!」を用いた 授業実践が行われました！

～身の回りのリスクへの対策と損害保険の基本について学ぶ～

日本損害保険協会 関東支部 山梨損保会（会長：丸山 弘・東京海上日動火災保険株式会社 山梨支店長）では、山梨県立都留高校（1/21）および同甲府第一高校（1/27）で、当協会作成の高校生向け金融教育副教材「明るい未来へTRY!」を活用した授業実践が行われ、関東支部職員がそれぞれサポートしました。

都留高校（菊島晶子教諭・白井未来教諭）では、「倫理／政治経済」の指導領域で、高校3年生51名を対象に、また、甲府第一高校（三輪貴代教諭）では、「現代社会（日本経済と福祉の向上、少子高齢社会と社会保障）」の指導領域で、高校3年生73名を対象に、「社会保険と民間保険の違い～身の回りのリスクへの対策～」と題し、リスクへの対策と損害保険の基本について学ぶ授業が行われました。

各授業では、初めに、教諭から、社会保険と民間保険の違いや保険の役割などについて、続いて貯蓄と保険の違いについて、動画教材を併用した説明が行われました。

次の展開として、同副教材「やってみたいこと編」の中から、「憧れの一人暮らしがしたい!」、「友だちとドライブに行きたい!」のいずれかを選び、リスクとその対策について各自の考えをグループで意見交換と発表を行いました。それを踏まえ、すまいの保険やくるまの保険についての解説を行い、最後に、教諭から、日常生活でのリスク回避の心掛けや備えの必要性について補足がありました。

生徒からは、「卒業後の生活をイメージしていく中で、多くの危険があることが分かり、保険がすごく大切だということが分かった。」、「将来、予想外の出費に対応出来るようにするためには保険に加入しておくべきだと思った。」、「交通事故の高額賠償事例を聞いて、対人賠償だけでなく対物賠償についても無制限で加入しておくべきだと思った。」などの感想が出され、本授業を通じて、将来、社会生活を送る上で遭遇するリスクに応じて保険を活用することが重要であると認識してもらうことができました。

当支部では、このような授業実践を通じて、高校生の損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。



1. 都留高校 菊島教諭による説明



2. 都留高校 白井教諭による説明



3. 甲府第一高校 三輪教諭による説明



4. グループディスカッションの様子